

ふれあい新聞

春号



かみさの家「入所者様と一緒に作りました」

発行日 令和 7 年 4 月 1 日 第 97 号
発 行 社会福祉法人 瑞穂会
ふれあい新聞編集部
本 部 〒444-0936
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地
T E L (0564) 34-3666
F A X (0564) 34-2347

令和7年度に向けて

社会福祉法人 瑞穂会

特別養護老人ホーム やはぎ苑

業務執行理事 手嶋 孝良

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新年度を迎えるにあたり、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今、日本の介護業界は急速な高齢化率の上昇の影響から、いくつかの課題を抱えています。その課題は、大きく分けて「人材不足」と「経営難」です。介護人材の不足は深刻な社会問題であり、2035年には、約297万人の需給差が生じると予測されています。

その原因の1つ目は、「給与、待遇の問題」です。介護職は身体的・精神的な負担が大きく、専門的なスキルや感受性が求められるにもかかわらず、その対価が十分でないことが多い為、有能な人材が確保しにくくなっています。民間大手企業の2025年の賃上げ率は昨年を超え、介護業界との差はますます開くばかりです。

2つ目が、「社会的評価の低さ」です。介護職の過酷な労働条件や高度な専門性の不足、低い給与水準が人材確保を難しくし、働くモチベーション低下を招き、社会的な評価が他の分野よりも低いとみなされています。

3つ目が、「過酷な労働環境」です。介護職員は人手不足からくる多忙な業務や長時間労働により、十分な休息が取れない職場も珍しくありま



せん。また利用者のケアや職場の人間関係などで精神的な疲労やストレスがたまり、メンタルヘルスにも問題を抱えやすいとされています。

また、新型コロナウイルスのまん延をきっかけに、感染予防対策の経費や光熱費の増加、施設の利用控えによる収入減などが影響して事業所の経費を圧迫しました。行政は2021年に補助金など支援策を実施しましたが、その効果が切れたタイミングで倒産が増加したとみられています。さらに、これに追い打ちをかけるように近年の海外情勢や円安などの影響による物価高、原油の価格高騰により経営コストが大きく増加しました。

他業界の企業なら経営コストが増えた場合、サービス料金を上げるなどの対策をとる事ができ、2025年も商品の値上げラッシュは、収まることなく続いています。しかしながら、介護報酬は厚生労働省が定める介護保険制度によりサービスの種類ごとに定められており、コスト増を報酬で賄うことができずに経営難に苦しむ事業が増えています。また、介護職員の人員不足による事業の縮小を余儀なくされることで、収入減の事業所も増えてきています。

やはぎ苑においても、令和6年度は、大変厳しい環境に置かれ、「柔軟な雇用と労働環境の整備」「外国人労働者の積極的な採用」や「継続的な教育・研修の提供」「ICT化による業務負担の軽減」「大規模修繕」等対処しなければいけない課題は山積していますが、令和7年度のスタートにあたり、課題に優先順位をつけ、この1年で少しでも多くの課題を解決し、「働く側」からも「利用する側」からも選んでいただける施設を目指して、職員一丸となり取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和7年度を迎えて

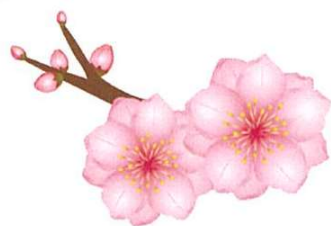
外国人職員採用への期待

特別養護老人ホーム くわがい

施設長 藤城 みさき

介護人材の不足の波はここ数年でさらに深刻化してきましたが、当法人も令和2年から外国人の採用を計画的に行ってきました。日本の介護福祉専門学校で留学生として2年間学び、高い知識と技術力を備えた上で、卒業と同時に当法人に就職するので、即戦力として現在も活躍されています。

当施設は留学生を受け入れた実績はありませんが、令和4年8月からフィリピン人の技能実習生を2名受け入れております。その技能実習生は今年の6月には特定技能に移行する予定です。当時、令和3年にフィリピンからの技能実習生を迎える予定でしたが、コロナ禍で入国規制がかかり、1年間の延期後、令和4年の6月からスタートとなりました。2名のフィリピン人の実習生は30代の女性で、仕事に取り組む姿勢は真面目で前向きであり、ご利用者に対しては誠実で丁寧な対応が好印象です。また、フレンドリーな性格でもあり、職員とも直ぐに馴染むことができました。それでも、一番心配されていたことは言葉の壁でした。本人たちも、ご利用者にうまく言葉が通じないことへの不安は大きかったようでしたが、根気よく働きかけていくことで、少しずつ意思疎通を図ることができるようになりました。今では、日本人の職員と同じように介護技術を習得し、ご利用者との関係も深まりつつあります。このまま技術や知識の習得が順調に進んでい



けば、特定技能に移行する6月には夜勤業務を任せることができそうです。

また、4月からは新たにミャンマーからの特定技能外国人が2名入職予定です。今後、ミャンマー人の特定技能外国人を採用していくにあたり、フィリピン人の技能実習生2名の先輩としての指導力にも期待しています。外国人材を増やしていくことは単に人材不足の解消だけでなく、日本人スタッフに良い刺激を与えるという側面もあります。頑張っている外国人の姿を見て、日本人職員にも良い刺激となっていくのを期待しています。

今年、6月からは4名の特定技能外国人の方に働いていただくことになりましたが、私共も、彼女たちが介護のプロとして、今後は介護福祉士を目指していきけるように全力でサポートをしていきます。皆様方にも温かいご支援とご協力をお願い致します。

最後に、皆様にご報告があります。平成16年6月に開所してから21年間運営してきました、当施設の「くわがいデイサービスセンター」は、令和7年3月31日をもちまして、諸般の事情により廃止させていただきますことになりました。当事業所は長い間、レスパイトケアとしての役割を担ってまいりましたが、数年前よりコロナ禍の影響も受けて、年々、ご利用者数が減少しておりました。皆様に惜しまれながらのこの苦渋の決断をしたことに対し、関係者の皆様へ深くお詫びを申し上げます。また、ご利用者様、ご家族様、各事業者等の皆様、地域の皆様にも深く御礼申し上げます。

特養、ショートステイの事業については、引き続き変わらぬご愛顧の程、本年度もよろしくお願い申し上げます。

令和7年度新人職員紹介

- ① 氏名
- ② 配属先
- ③ 長所・特技・趣味
- ④ 抱負



- ① タマン クマリ
- ② 第三やはぎ苑
- ③ 旅行
- ④ 利用者の方やご家族の方の支えになれるような介護士になりたいです。



- ① タマン リティカ
- ② やはぎ苑
- ③ 料理・音楽鑑賞
- ④ 利用者の方の気持ちを理解して、役に立つ介護福祉士になりたいです。



- ① 野島 友季
- ② 第三やはぎ苑
- ③ 茶道・読書
- ④ 利用者の方主体の介護が行えるよう頑張ります。



- ① バンダリ アプサラ
- ② やはぎ苑
- ③ サッカー・旅行
- ④ 学校で勉強してきた事を思い出しながら利用者さんに優しい介助を行い、ありがとうと言って頂ける様に頑張ります。



- ① タマン マンズラ
- ② 第三やはぎ苑
- ③ カラオケ・旅行
- ④ 利用者の方の気持ちを理解して、丁寧に介護できる介護士になりたいです。

やはぎ苑

ケアハウス

2月2日、節分の豆まきと塗り絵を行いました。久しぶりの塗り絵に皆さん黙々と塗っていました。「鬼の顔は何色がいい?」「キバは何色?」と悩みながらカラフルな鬼が完成していました。

お楽しみの豆まきは、大豆ではなく甘納豆と柿ピーを用いて行いました。「鬼さ〜ん」と呼ぶと黄色の雷パンツをはいた鬼が登場し、怖いというより愛嬌のある鬼さんを、皆さん笑顔で迎えていましたよ。本番では、「鬼は外、福は内」と言う人、「ごめんね〜」といいながら申し訳なさそうにしている人がいましたが、終始笑顔で「楽しいね」と話されていました。

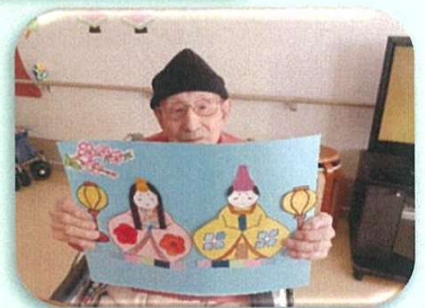
今後も、季節の行事を行い、楽しく過ごして頂きたいと思います。



特養 4 階

ひな祭りの壁飾りを作りました。

職員と一緒に、見本を見ながら各パーツを一つ一つ糊付けして完成させました。とっても可愛らしくできました。お部屋の壁が明るくなりました。



デイサービス



くわがい一座の寸劇



手品をお披露目



足湯でほっこり



夏野菜を植えよう！



うちわ作り



e スポーツ



一致団結



イチゴの収穫祭



メダカの水替え



東公園での一幕



盆踊り 太鼓で音頭

春の訪れとともに、くわがい一座も訪れました。「花咲じいさん」を熱演する職員の姿に、たくさんの拍手が沸き起こりました。夏に向けて、手慣れた感じで夏野菜を植えて一言「あ～疲れた」。メダカが仲間入りすれば「こりゃあ金魚か？」と言いながら、みんなで面倒を見ました。チンパンジーとも仲良くなりました。秋には芋ほりなど収穫祭をして部屋中土だらけ。冬には鐘を鳴らして「お～！」と歓声が上がりました。お抹茶会では、「結構なお手前で。おほほほ～」お作法を披露して頂きました。楽しい時間がいっぱいでしたね♪



多肉植物栽培



レクリエーション活動



芋ほり



書道



洗濯物たたみ



お抹茶会



みんなで作った大きな鬼の顔



衣文観音で鐘つき

当事業所は、21年間皆様に愛されながら進んで来ました。誰かの為に役割を持つ事で喜びを感じて頂きました。時には言い合いになってしまう事もあり、職員が慌てて間に入る場面も今では懐かしいです。出会いがあれば様々な事情で別れもあり、はたまた笑い過ぎたりして涙も流しました。目を閉じれば一人一人の笑顔が浮かんできます。誠に残念ではありますが、令和7年3月31日をもって、当サービスは廃止となります。これまでご利用頂いた利用者様、家族様、関係者の皆様、ご愛用賜り心より御礼申し上げます。くわがい職員一同。

かみさの家日記

グループホーム

かみさの家

1 月

- 元日に近くの神社に初詣に行きました。「一年元気で過ごせますように」
- 中旬には新年会を開催しました。景品狙ってビンゴ大会を行ない、和菓子を頂きました。



2 月

- 節分で豆まきを行いました。「鬼は外、福は内」と豆に見立てたお手玉を鬼に投げ、おやつに豆を頂きました。



3 月

- ひな祭りの日に向けて、ひな人形の飾りつけをしました。「懐かしいね」「子供の為に飾ったよ」など、入所者さん同士でお話しながら飾られていました。
- 例年より遅れて、玄関の梅の花が満開になりました。毎年梅の花を見て、春の訪れを感じています。



小規模多機能 やはぎ苑

日頃より小規模多機能やはぎ苑の活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

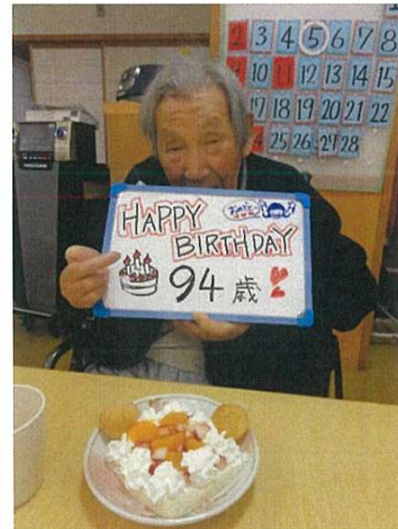
小規模多機能「やはぎ苑」では利用者さんの誕生日に合わせ毎月誕生日会を開催しております。誕生日会の時には利用者さんが腕によりをかけて誕生ケーキを作っていました。



季節の果物をトッピングして、形も様々な美味しい誕生ケーキの完成です。



利用者さんの嬉しそうな笑顔が何よりです。





小規模特別養護老人ホーム 第三やはぎ苑



日頃より皆様方には格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。
さて、温かくなったかなと思ったらまた寒さがぶり返し、また朝夕の温暖差が激しく、先日は雹まで降って来ました。

なんだか気候が定まりませんね。



毎年この時期になると開設時の時を思い出します。
立ち上げの時に皆と志した思いや、初めての入居者の方への対応、初めて夜勤を務めることになった職員の不安など、今でも鮮明に思い出します。
施設のあちこちにある備品や生活用品などにも、ひとつひとつに思い出を感じられます。
第三やはぎ苑も5月で9年目を迎えますが、初心を忘れてないだろうか・・・目指す施設に向かっているだろうか・・・と、いつも自分に問いかけます。

現在国の方針により、生産性向上として介護ロボットの導入などにより、職員の負担軽減を図ると言われております。
現に第三やはぎ苑では記録の電子化やリフト浴の導入により、現場の職員の負担軽減に繋げております。
また、人材確保の一環として、介護実習生の受け入れや学生ボランティアの受け入れ等を行い、介護の仕事の楽しさを伝え、若い人材が介護の仕事を選んでくれればと動き出しております。

介護の仕事は辛い・汚い・給料が安いと世間では言われておりますが、決してそうではない。
世間にはたくさんの職種がありますが、「ありがとう」と言われる職種は数少ないと思います。
私達は「ありがとう」の言葉と、入居者の方々、そのご家族の方々の笑顔が心の支えとなり、決して辛いとは思っておりません。
第三やはぎ苑職員一同、毎日楽しくお仕事をさせて頂いております。



施設長 西井 美恵子

新年度に新しい職員が入職します。

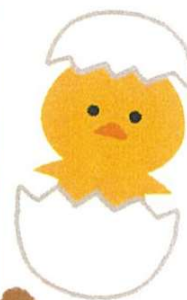
それぞれに志を抱いて
第三やはぎ苑に
来てくれます



タマン・マンズラ

利用者の方の気持ち
を理解して、丁寧な
介護をしたい。

よろぴく♡



野島 友季

利用者の方を第一に
考える介護士になり
たい。



タマン・クマリ

利用者とその家族の
支えになれるように
になりたい。

皆様どうか宜しくお願いします。

産休を取っていた職員が赤ちゃんを連れて遊びに来ました。
入居者の皆様と触れ合い、皆笑顔にしてくれました(^_^)
赤ちゃんパワーはすごいですね～

年の差 92 歳



年の差 101 歳



年の差 89 歳



年の差 81 歳



なんだか歴史を感じます。
誰もが赤ちゃんの時があったのですから・・・



令和7年度新人職員 辞令交付式

令和7年4月1日、瑞穂会に10人の職員さんが入職されました。

やはぎ苑では、辞令交付式が行われました。

これから色々な事があると思いますが、入居者さん・利用者さんに寄り添える職員になって下さい。頑張ってくださいね。



編集後記

「ありがとうございました」

ご寄付・ご寄贈（令和七年一月～令和七年三月）

※ 産土・長瀬の会 様

「令和のコメ騒動」2024年春以降からメディアで放送されるようになり、夏以降に南海トラフ地震臨時情報発表と台風被害の頻発の報道をきっかけにコメ価格が急上昇しました。

5キロのお米の値段が2000円台だったのが、現在では4000円台と倍になっています。お米が主食の日本人にとってお米価格の高騰はつらいです。我が家では1ヶ月のお米消費量が15キロ前後なので、かなり家計を圧迫しています。皆さんもそうだと思いますが、献立に麺類のメニューが増えて少しでもお米の消費を抑えるようにしています。政府が備蓄米の放出を始めましたが、実際に価格が下がり始めるのがいつ頃になるのか、以前のような価格まで下がるのはいつ頃になるのでしょうか。早く元の価格に戻ってほしいですね。

